

授業紹介 <絵・彫・デ・①・映・他>

『ペーパーウェイト～木材と金属～』

高知県立岡豊高等学校

三谷 真美

学校紹介・特色

本校は全日制・普通科の高校で今年度は1，2年生が各8クラス、3年生が9クラスの総生徒数の県内では規模の大きい学校である。一番大きな特色は普通科の中に芸術コース、体育コースを1クラスずつ置いていることであり、3年間専門的に学ぶことができる。芸術コースではさらに美術・音楽・書道の3科それぞれの専門コースに分かれており、美術コース生徒が6割から7割を占めている。また部活動にも積極的に取り組んでおり、体育系では柔道部・弓道部・男子ソフトボール部、文化系では書道部・漫画アニメ部・ギター部などが全国でも上位のレベルで活躍している。

美術の授業は普通コースで“美術Ⅰ”、“美術Ⅱ”、“美術Ⅲ”（3年次選択科目），“工芸Ⅰ”（3年次選択科目），“素描”（3年次選択科目）、美術コースで“美術Ⅰ”、“美術Ⅱ”、“素描”、“絵画”、“構成”、“美術史”、“美術概論”、“ビジュアルデザイン”、“クラフトデザイン”（3年次選択科目），“彫刻”（3年次選択科目）の講座が設定されており幅広い分野から学ぶことができる。

対象学年：3年生（28名）

所要時間：15時間

材料・準備物：参考作品、授業プリント、木板（黒檀）、真鍮線、木材円柱（台座用）、糸鋸、クランプ、すり板、やすり、ペーパー、ドリル、ワックス、金属磨きクリームなど

制作内容：木材（黒檀、ブナ）と金属（真鍮線）を使ってペーパーウェイトを制作する。

〔円柱の台座に黒檀板で作ったパーツを真鍮線で立てる。パーツの大きさ、数は自由。パーツの中に一ヶ所以上、真鍮線で象嵌を入れる。〕

題材設定の理由：年間の授業を通して、できるだけたくさんの素材に触れて“ものをつくる”ことを学んで欲しいと考え、木材・金属材の両方を扱えるこの課題を設定した。それぞれの素材の加工の仕方や特性、道具の扱い方を学び自分の考えたものを“モノ”にする喜びを味わって欲しい。

制作手順：①アイデアスケッチをする

②デザインを決める・・・全体の形の工夫、板の厚みを生かした表面の工夫（模様・透かしなど）を入れる。

- ③デザインを板に写す
- ④糸鋸で外形を切る
- ⑤穴をあける・・・真鍮線を立てる部分、象嵌する部分に穴をあける
- ⑥やすり、ペーパーをかける
- ⑦磨く・・・ワックスで全体を磨き上げる。
- ⑧各パーツを組み合わせる

まとめ：一枚の板から各自の発想でいろいろなデザインの工夫を見ることができた。象嵌の模様を目に見立てたり、パーツを重ねるジョイントの部品を兼ねていたりして、少しでも個々の発想を広げるきっかけになったように思う。また、やすり・ペーパーがけの地道な作業を丁寧に重ねることで後の仕上がりの美しさにつながることを体験し、最後まで完成させることで達成感を味わうことができた。

生徒作品：

